

第
13

海草支部

和歌山市支部

那賀支部

伊都支部

有田支部

紀州さんぽ散珠つなぎ

新宮支部

串本支部

田辺支部

日高支部

歴史のまち・九度山町

伊都支部からは今回、歴史の趣き深い九度山町の慈尊院と、その周辺に建ち並ぶ史跡を御紹介したいと思います。「女人高野」の別名でも知られる慈尊院は弘法



慈尊院乳房の繪馬

大師・空海の手により、弘仁7年(816年)に建立されたと伝えられ、2004年7月には「紀伊山地の霊場と参詣道」の一部として世界遺産にも登録された由緒正しい寺院であり、本尊



丹生官省符神社拝殿

の弥勒仏(秘仏)は国宝、像の安置されている弥勒堂は重要文化財に指定されています。

院の象徴的存在の多宝塔(県指定文化財)は現在、

保存修理工事中のため、その姿を見る事は出来ませんが、工事完了の暁には、再びその威容で参拝者を迎えてくれる事でしょう。



勝利寺仁王門

慈尊院は大師の御母堂にまつわる伝承から、安産・育児の守り神としての信仰も集めており、乳房を模したユニークな形の繪馬が数多く奉納されています。

慈尊院から続く石段を登ると、同じく世界遺産に登録された丹生官省符神社があります。

ここに至る石段は119段。創建は慈尊院と同じく816年と伝えられています。



勝利寺石段

拝殿奥に座する本殿の朱色は、四季折々の花や緑に良く映え、厳かな雰囲気醸し出しています。

ここから南西に更に登ると、町指定文化財の勝利寺があります。

こちらの石段は丹生官省符神社に比べると少ないのですが、

かなりの急勾配。真冬でも上がり切る頃には汗ばむ程です。ですが、御心配なく。足弱者用に迂回路も設置されています。

階段を上り切ると仁王門が迎えてくれます。鬼瓦の銘から、安永2年(1773年)には完成していたと推測されています。

この境内には、立派な枝垂れ桜があり、参拝者の目を楽ませてくれます。



勝利寺境内



紙遊苑

この勝利寺に隣接してあるのは「紙遊苑」。

ここでは、手漉き和紙の紙漉き体験が出来ます。料金は紙のサイズに合わせて¥300~¥400とリーズナブル。

興味の有る方は、是非どうぞ。

お問合せ先は『紙遊苑 TEL0736-54-3484』まで。事前予約が必要です。

山を下って、町中に入ると真田庵(正式名称:善名称院)が。

こちらは戦国武将、真田昌幸・幸村父子の隠棲の屋敷跡として、県の史跡に指定されています。毎年5月5日には、父子に因んだ真田祭りの武者行列が盛大に催され、「歴史のまち・九度山町」を盛り上げてくれます。



真田庵入口

これからの季節、南海高野線・学文路~九度山沿線や紀ノ川沿いの桜並木、そして各社寺の境内の桜達も一斉に花開きます。春の花々に囲まれながら、時間を気にせず、歴史のロマンに思いを馳せる・・・



真田庵 扉の六文銭

そんな、ゆったりとした休日を過ごしてみても、いかがでしょうか。

伊都支部 大川嗣久